

精神障害者の地域移行に関する 理解と実践を促進するために —看護教育・実践現場での具体的取り組み—

平成26年7月、「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会」（厚労省）により地域移行を目指した具体的方策の方向性がとりまとめられました。厚労省からの周知依頼を受け、文科省より基礎教育・卒後教育においても、教員・学生・医療スタッフ等が精神障害者の地域移行の重要性について理解を深める必要性が示されました（平成27年5月）。基礎教育に携わる教員や実践現場の看護職は、これにどのように取り組むことができるか、3名のシンポジストからそれぞれのお立場での取り組みをご紹介いただき、地域移行の重要性の啓発や教育の方向性、具体的な方法論、課題について検討します。

シンポジスト

1. 斎藤 百合枝 先生（東京武蔵野病院）
「東京武蔵野病院での地域移行支援の取り組み」
2. 宮本 めぐみ 先生（社会福祉法人めぐはうす）
「精神障害者地域移行促進事業の実践から—地域のコーディネーターとして病院に出向く—」
3. 安保 寛明 先生（山形県立保健医療大学）
「地域移行支援の鍵概念にリカバリーを据えた教育の試み」

司会 野末 聖香（慶應義塾大学）

記

- ❖ 日 時：2015年 10月 17日（土）13時～15時
- ❖ 会 場：慶應義塾大学信濃町キャンパス孝養舎405教室
- ❖ 参加費：会員 無料、非会員 1,000円（資料代として当日お支払い下さい。）
- ❖ 参加申し込み：事前申し込みにより受け付けます。
①氏名、②所属、③会員または非会員を明記の上、
事務局アドレスまでメールでお申し込み下さい。

シンポジウム事務局アドレス japmhn.edu@gmail.com

- ❖ 申し込み締め切り：10/13（火）まで（先着70名）

※お申し込みの際にご記入いただいた個人情報に関しては、本シンポジウムに関するご連絡にのみ使用いたします。

※お問い合わせは、シンポジウム事務局アドレスまでお願いします。

教育活動委員会シンポジウム事務局
e-mail:japmhn.edu@gmail.com